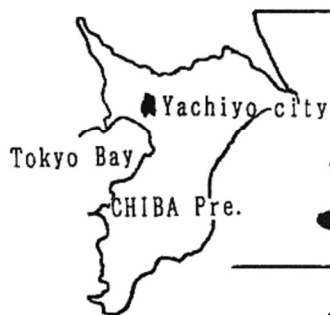




まい 埋やちよ

No. 49

千葉県八千代市

埋蔵文化財通信

2024. 7.1

(令和6年)

令和5年度を振り返って

本号では、令和6年度の事業内容についてご報告します。

発掘調査事業

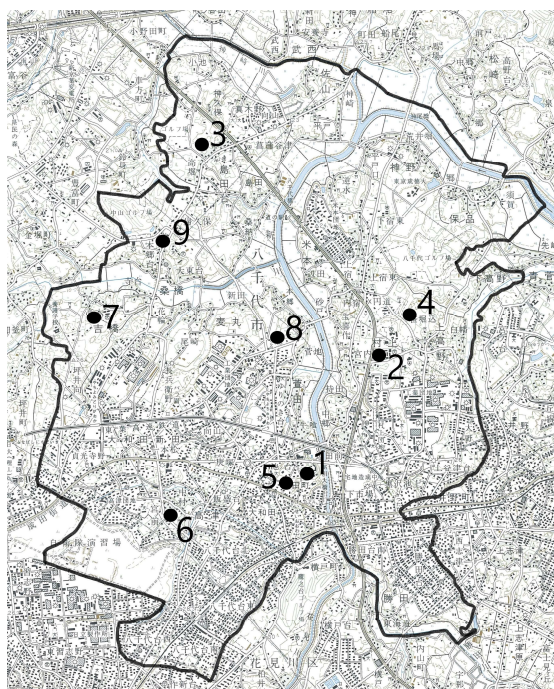
16遺跡19地点の確認調査と4遺跡の本調査を行いました。個々の調査概要は次頁の表や図を参照してください。

整理事業

令和4年度に調査した、市内遺跡確認調査9遺跡10地点及び椿山遺跡a地点の本整理、令和5年度に調査した蛸池台遺跡c地点・新林遺跡j地点の本整理を行い、それぞれ発掘調査報告書を刊行しました。

報告書刊行の令和4年度調査分の市内遺跡では、川崎山遺跡y地点、神明前遺跡c地点、平沢遺跡g地点、北裏畑遺跡j地点、麦丸宮前上遺跡g地点で竪穴建物跡等の遺構が見つかりました。このうち北裏畑遺跡j地点については、確認・本調査として縄文時代の土坑1基を調査し、成果を掲載しています。川崎山遺跡y地点については令和4年度中に(有)原史文化研究所により本調査が行われ、報告書が刊行されています。神明前遺跡c地点、平沢遺跡g地点、麦丸宮前上遺跡g地点では、本調査せずに保存されています。

遺構が検出されなかった西山遺跡e地点、



市内遺跡発掘調査報告書掲載遺跡

1 川崎山遺跡 2 西山遺跡 3 神明前遺跡 4 平沢遺跡
5 北裏畑遺跡 6 門原遺跡 7 東向遺跡 8 麦丸宮前上遺跡
9 追分遺跡 ※番号は地図の番号と対応

門原遺跡a地点・b地点、東向遺跡b地点、追分遺跡b地点についても調査成果を掲載しています。

以下、報告された中から特筆すべき成果等について触れていきたいと思います。

蛸池台遺跡b地点では、確認調査で四隅に陸橋をもつ方形周溝墓6基分の区画溝が見つかり、調査した範囲全体が弥生時代の墓域で

令和5度 本調査一覧

遺 跡 名 (地区)	期 間	面 積 (㎡)	調査概要	備 考
蛸池台遺跡b地点	8/23～9/15	35	弥生時代方形周溝墓区画溝1条, 奈良・平安時代土師器	
新林遺跡j地点	9/25～10/4	20	縄文時代陥穴1基	
神野群集塚	12/12～1/5	90	奈良・平安時代竪穴建物跡1棟, 掘立柱建物跡1棟, 中近世塚1基, 奈良・平安時代土師器・須恵器	
白幡前遺跡k地点(第1次)	1/11～3/27	639	縄文時代 陥穴1基 古墳時代 竪穴住居跡3軒, 奈良・平安時代 竪穴住居跡2軒, 中近世 土坑1基・溝2, 古墳時代土師器, 奈良平安時代土師器・須恵器・銭貨	

令和5度 確認調査一覧

遺 跡 名 (地区)	期 間	面 積 (㎡)	調査概要	備 考
高津宮ノ前遺跡c地点	4/19～4/25	160/1507	遺構・遺物なし	
井戸向遺跡e地点	5/9～5/18	94/962.03	遺構・遺物なし	
帰久保遺跡a地点	5/15～5/19	96/969.81	遺構・遺物なし	
蛸池台遺跡b地点	5/30～6/7	148/1244.39	弥生時代方形周溝墓6基, 縄文時代土器	現状保存・本調査
南海道遺跡d地点	5/29～6/8	188/1817.31	古墳時代竪穴建物跡4棟, 奈良・平安時代掘立柱建物跡1棟・土坑2基, 近現代溝6条, 縄文土器, 古墳時代土師器	現状保存
高津宮ノ前遺跡d地点	6/5～6/15	46.6/426	近世溝1条, 縄文土器, 奈良・平安時代土師器, 近世以降陶磁器・土器	
大山遺跡f地点	6/19～6/27	144/1407.38	近現代溝2条, 縄文時代土器	
白幡前遺跡k地点	6/26～7/19	732/10076.73	弥生時代竪穴建物跡1棟, 奈良・平安時代竪穴建物跡15棟・掘立柱建物跡3棟・土坑9基, 弥生土器, 古墳時代土師器, 奈良・平安時代土師器・須恵器	現状保存・一部本調査
新林遺跡j地点	7/31～8/7	88/846	縄文時代 陥穴1基, 縄文土器	
北裏畑遺跡k地点	8/22～9/4	184/1625.46	遺構なし, 奈良・平安時代土師器	
境堀遺跡b地点・神野群集塚	10/19～10/31	258/2768.48	奈良・平安時代竪穴建物跡2棟, 土坑8基, 中・近世塚1基, 縄文土器, 奈良平安時代土師器・須恵器	現状保存・一部本調査
白幡前遺跡l地点	11/7～11/30	56.5/531.98	遺構・遺物なし	
下宿東遺跡c地点	11/22～11/30	55.5/784.22	遺構なし, 縄文時代石器, 奈良平安時代土師器	
白幡前遺跡m地点	1/5～1/11	40/353.71	遺構なし, 縄文土器, 奈良・平安時代土師器須恵器	
門原遺跡c地点	1/5～1/19	132/1498.61	遺構・遺物なし	
南海道遺跡e地点	2/13～2/20	10/102.5	遺構・遺物なし	
上谷津台南遺跡l地点	2/26	40/427	遺構・遺物なし	
菅地ノ台遺跡g地点	3/6～3/11	102/1079.64	縄文時代ピット4基, 古墳時代竪穴建物跡1棟, 奈良・平安時代竪穴建物跡1棟, 縄文時代土器, 弥生時代土器, 古墳時代土師器, 奈良・平安時代土師器・須恵器	本調査
道地遺跡l地点	3/18～3/25	76/715.5	遺構・遺物なし	

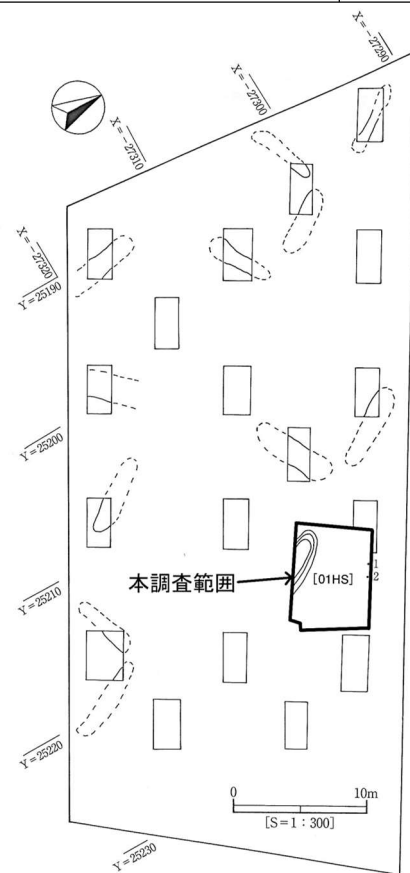
令和5年度 刊行報告書一覧

書名	主な内容	刊行年月日
椿山遺跡a地点 —倉庫建設に伴う発掘調査報告書—	中世土塁3基、溝9条、火葬施設2基、土坑墓11基、地下式坑12基、土坑10基、ピット124基、竪穴状遺構2基、屋外炉1基、台地整形区画3ヶ所、縄文土器、弥生土器、中近世土器、陶磁器、中国産磁器、砥石、鉄滓、板碑、銭貨	令和5年9月29日
市内遺跡等発掘調査報告書	令和4年度に実施した市内遺跡確認調査9遺跡10地点 遺跡名は本文参照	令和5年11月2日
蛸池台遺跡b地点 —集合住宅建設に伴う発掘調査報告書—	弥生時代中期方形周溝墓の区画溝1条	令和5年12月20日
新林遺跡j地点 —共同住宅建設に伴う発掘調査報告書—	縄文時代陥穴1基、縄文時代土器	令和6年2月29日

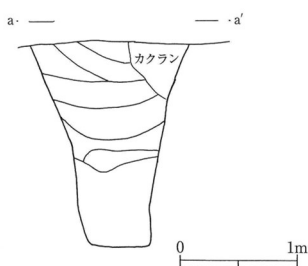
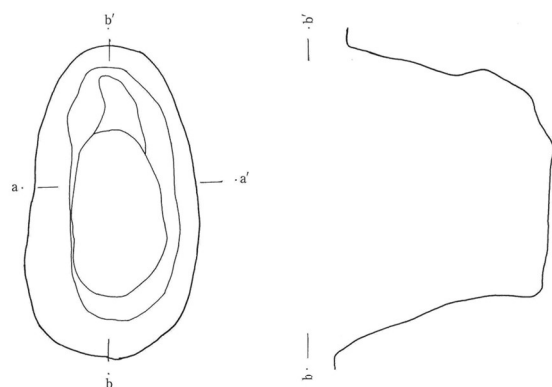
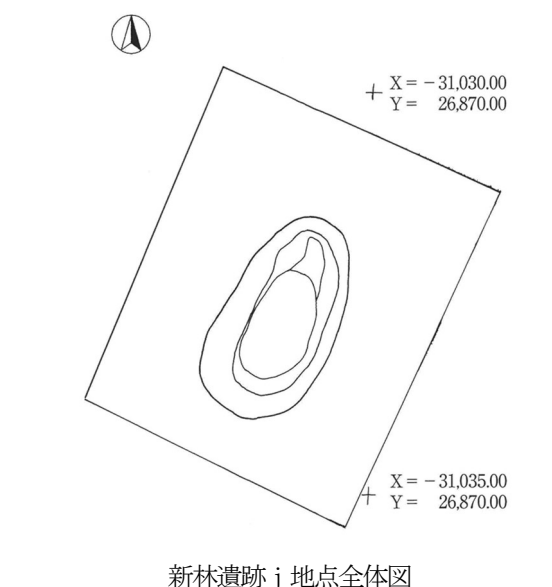
あることがわかりました。大半が現状のまま保存されることとなりましたが、一部で本調査を行った結果、新たな方形周溝墓の区画溝が見つかり、確認調査で見つかったものと合わせて、少なくとも7基の方形周溝墓があることがわかりました。

蛸池台遺跡については、埋やちよ No.37「速報 蛸池台遺跡採集の弥生土器」で、今回調査した地点から見て西側、遺跡の中央付近で、畑の耕作中に見つかった弥生土器についての報告をしています。今回の調査で見つかった、四隅で溝が立ち上がる四隅陸橋型と呼ばれる方形周溝墓は、弥生時代の中期後半によく見られる形です。また、No.37で紹介した弥生土器も中期後半の時期で、出土した辺りにはおそらく竪穴建物跡があると考えられます。そういったことから考えて、今回調査した場所の西側、遺跡の中央から、西側の台地の縁辺までの一帯には弥生時代の集落が広がり、東側はお墓として利用されていたと考えることが出来ます。

令和4年度調査が行われ、令和5年度に報告書が刊行された椿山遺跡a地点については、新発見の中世館跡ということで「埋やちよ No.48」で紹介していますので、そちらをご参照ください。



新林遺跡 j 地点では、縄文時代の陥穴 1 基が見つかりました。動物を落として捕まえるための穴のため、縄文土器などの遺物は見つかりません。



新林遺跡 j 地点 陥穴平面図・断面図

普及・啓発事業

教育委員会庁舎と文化伝承館にて常設で展示をしています。また、東葉勝田台駅連絡通路の栄町公園駐輪場の入り口手前にある展示ケースにおいて、不定期ではありますが展示を行っています。

令和5年度は令和6年1月26日（金）から28（日）にかけて、新型コロナウイルスの影響で中止していた出土文化財展示会を、勝田台ステーションギャラリーにて4年振りに開催しました。「さわってみよう!! どきどき（土器土器）たち」と題して、来場された方に実際に出土した土器を触ってもらった他、発掘体験や遺跡に関するクイズのコーナー等を設け、見るだけでなく、体験型の展示会を開催しました。3日間を通して600名を超える方にご来場いただき、盛況の内に終えることが出来ました。



令和6年度につきましても、多くの皆様に文化財に触れていただけるよう、展示会等をはじめとした普及・啓発活動を行ってまいります。詳細につきましては、「広報やちよ」や市ホームページ等によりお知らせしますので、ご確認ください。

埋(まい)やちよ No.49

—千葉県八千代市埋蔵文化財通信—

令和6年7月1日

編集・発行

八千代市教育委員会

文化・スポーツ課文化財班

八千代市大和田 138-2

☎276-0045 ☎047(481)0304



やちよ